

落雷から児童生徒を守るための教員向けフローチャート

活動前・朝

雷注意報の有無を確認
気象情報の確認（気象庁：雷ナウキャスト）

注意報が**ない**
⇒活動を実施

注意報が**ある**
⇒活動を**原則中止**



雷ナウキャスト

活動中

随時、空の様子を確認



真っ黒い雲が近づいてきた



雷の音が聞こえてきた



急に冷たい風が吹いてきた

これらの状況が**ある**

活動を中止！ すぐに安全な場所へ避難する

雷から身を守るための留意点

雷鳴が近くで聞こえた場合

A 部活動などの屋外活動 ⇒

すぐに中断！
速やかに屋内に避難

B 下校前 ⇒

- ① 素早く情報収集
- ② 必要に応じて学校で待機
- ③ 学校の対応を保護者等にメール連絡

C 登下校時 ⇒

近くの**安全な場所**に避難。無理に屋外を移動しない。

D 自転車に乗っているとき ⇒

- ① すぐに降りて、姿勢を低くする。
- ② **安全な場所**に避難する。

<比較的**安全な場所**>

- ・鉄筋コンクリート建築
 - ・木造建築の内部
 - ・自動車やバスの内部
- ※全ての電気器具、天井や壁から1 m以上離れれば更に安全

近くに安全に避難する場所がない場合

- ①低い場所を探してしゃがむ。できるだけ姿勢を低くする。
- ②高い建物（電柱、鉄塔など）のてっぺんを45度以上見上げる範囲で、建物から4 m以上離れたところに退避する。
- ③高い木の近くは危険です。最低でも木から2 m以上は離れる。

